

研究科・学部 教授会議事録
〔令和5年6月15日（木）13:30～15:12〕

◇令和5年5月18日（木）開催の研究科・学部教授会議事録（案）の確認の結果、承認された。

【議 事】

I. 報告事項

1. 委員会報告について

研究科長、各議長並びに各委員長から、報告資料1に基づき、報告があった。

＜研究科内委員会・会議＞

- 1-1. 将来計画委員会 (R5. 6. 8)
- 1-3. 研究推進会議
- 1-4. 学務会議 (R5. 6. 9)
- 1-5. 予算・施設会議 (R5. 6. 8)
- 1-6. 情報・広報会議
- 1-7. 臨床研究倫理審査委員会 (R5. 3. 27、R5. 4. 28)
- 1-8. 薬学評価会議 (R5. 5. 15)

＜大学内委員会等＞

- 1-11. 教育研究評議会
- 1-12. 部局長会議
- 1-15. 医歯薬生命系戦略会議
生命医科学の社会実装プログラム運営委員会

2. 兼任教員について

研究科長から、報告資料2に基づき、報告があった。

3. 「薬学研究科教授選考内規」等の一部改正等について

研究科長から、報告資料3に基づき、報告があった。

4. 令和6年度OUマスタープラン実現加速事業・大阪大学先導的学際研究機構（OTRI）での部門新設について

教育研究評議員から、報告資料4に基づき、報告があった。

5. 薬学研究科における夏季一斉休業の実施期間について

研究科長から、報告資料5に基づき、本部にあわせて薬学研究科においても、令和5年8月14日（月）～16日（水）の間、夏季一斉休業を実施する旨、報告があった。

6. 月別電力使用量について

研究科長から、報告資料6に基づき、報告があった。

7. 危険物薬品庫の老朽化対策工事及びユニット型危険物庫の設置について
事務長から、報告資料7に基づき、報告があった。
8. 薬学部テニスコートの修繕及び貸与について
予算・施設会議議長から、報告資料8に基づき、報告があった。
9. その他
 - (1) 令和5年度第1回国公立大学薬学部長会議（R5.6.2開催）について
研究科長から、報告資料（別冊）に基づき、報告があった。
 - (2) CBT体験受験の学生参加について
学務会議議長から、8月29日に行われるCBT体験受験の学生参加について、報告があった。
 - (3) 留学生歓迎パーティについて
国際交流委員会委員長から、留学生歓迎パーティを7月14日に開催する旨、報告があった。

II 協議事項

1. 国費外国人留学生（学部留学生）等の受入れ・直接配置可能数及び学部入学選抜の取り扱いについて
学務会議議長から、協議資料1に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
2. 令和5年度大阪大学未来基金「学部学生による自主研究奨励事業」について
学務会議議長から、協議資料2に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
3. 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点について
学務会議議長から、協議資料3に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
4. 秋季卒業式・大学院学位記授与式の実施形態の見直しについて
学務会議議長から、協議資料4に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
5. 令和5年度長期課題研究中間発表会・先進研究コース特別選抜の実施概要について
学務会議議長から、協議資料5に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
6. 令和5年度招へい教員等の受入れについて
研究科長から、協議資料6-1及び6-2に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
7. 各種委員会委員（全学委員会委員等）の選出について
研究科長から、協議資料7に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

8. 2023 年度公益財団法人西村奨学財団国際交流助成制度による外国人研究者受入れ期間の変更について

天然物創薬学分野教授から、協議資料8に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

9. 「薬学研究科准教授等選考内規」の一部改正について

研究科長から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

10. JST 創発的研究支援事業研究に対する対応について

研究科長から、説明があり、協議の結果、承認された。

11. 令和5年度薬学研究科における財務に関する基本方針（案）について

予算・施設会議議長から、協議資料10に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

12. 令和4年度決算報告（案）及び令和5年度予算配分（案）について

予算・施設会議議長及び会計係長から、協議資料11に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

13. 令和5年度萌芽研究加速経費について

研究科長から、協議資料12に基づき、本取組概要の説明があった後、予算・施設会議議長から内容の詳細について説明があり、協議の結果、承認された。

14. その他

(1) FMODD夏の学校について

量子生命情報薬学分野教授から、協議資料13に基づき説明があり、協議の結果、本研究科との共催とすることが承認された。

次回研究科・学部教授会

令和5年7月20日（木）研究教育安全管理委員会終了後